

迷
い
込
ん
だ
先
で

浅
木

昂

人 物

杉 山 庄 三 郎 (2 4) 郵 便 配 達 員

有 希 子 (1 7) お 嬢 様

○山の中

郵便配達員の制服を着ている杉山庄三郎（24）腰に拳銃を下げている。

N 「大正×年 東北の山の中」

汗を拭っている杉山。キヨロキヨロしている。

杉山 「まいったな、道がわからんぞ」

霧の向こうに歩いていく。

× × ×

杉山の眼の前に立派な屋敷が現れる。

杉山 「こんなお屋敷、あったか？」

屋敷の門が開いて、有希子（17）が立っている。有希子、ニコツと笑って

有希子 「どうぞ休んでいってくださいまし」

○屋敷・広間

杉山は、浴衣に着替えている。

ところ狭しと山海の珍味が並べられている。目を白黒とさせている杉山。

杉山が持っている盃に有希子がお酒を注いでいる。

有希子、杉山にしなだれかかる。

有希子「素敵な旦那様やわ」

杉山「いや、ただの郵便配達員で」

有希子、杉山の胸板をすつとなぞりながら。

有希子「関係あらへん、うちが惚れたんはこの立派な体やから」

杉山「そ、そうか。ははは」

照れ笑いする杉山。

× × ×

布団で寝ている杉山。ふと、目を覚ます。あたりをキョロキョロ見渡して、ふと自分を見ると郵便配達員の格好をしている。

杉山「なんだこれ」

杉山、顔を上げると広間がクモの巣で覆われている。

杉山「ヒイツ」

布団の上を這っている蜘蛛を払いのける杉山。スツと有希子が現れて。

有希子「乱暴しないでくださいまし」

有希子の影が蜘蛛の形をしている。

這って有希子から距離を取る杉山。

有希子「そんな逃げんでも」

杉山「あ……あ……あ……」

スツと近づいていく有希子。杉山は目を瞑って、腰の拳銃を引き抜くとデタラメに発砲する。

有希子「ぎゃっ！ どうして……どうしてよ……」

有希子が杉山に手を伸ばしながら床に倒れる。

有希子「恨んでやるさかいになあ……」

杉山は拳銃を取り落として、広間を駆け抜けていく。

○山の中

杉山が、木の根元に座り混んで呆然としている。

；人物表；

杉山庄三郎（24）

＊郵便配達員で、イケメンマッチョ。浴衣はちよつと豪華な模様が入っていると嬉しい。また、この当時の郵便配達員は強盗対策に拳銃を所持していました。

有希子（17）

＊妖艶な雰囲気の開西弁の美少女。豪華な着物を着ている。正体は巨大蜘蛛の妖怪で伴侶を探していた。関西方面から流れてきた。杉山は好みにドンピシャ。新婚な雰囲気を楽しんでいたのに、残念な結果になつてしまつて、杉山を恨むことになる。

浅
木

昂